

停電後の復帰方法

一般給湯タイプ
型式: AS-

平成16年9月8日
(株)コロナ

注意事項

- ・時間帯別電灯契約をご利用のお客様の場合、沸き増しの操作を行っていただかないと、お湯は作れません。
- ・8時間電灯契約をご利用のお客様の場合、夜11:00以降まで電源は入りません。
- ・電灯契約を確認してお話下さい。
- ・停電時もブレーカーが「入」になっていた場合、一度「切」にした後「入」に戻して下さい。
- ・家のブレーカー、機器のブレーカーの両方を確認して下さい。

復帰の基本的な流れ

8時間電灯契約の場合

- ・家のブレーカーと本体のブレーカーを「入」にする。
(「入」になっている場合は一旦「切」にしてもらい、再度「入」に入れてもらう。)
- ・夜11:00時以降に通電が始まる。
(昼の通電を確認する場合は電力会社でないと確認できません。)

時間帯別電灯契約の場合

- ・家のブレーカーと本体のブレーカーを「入」にする。
(「入」になっている場合は一旦「切」してもらい、再度「入」に入れてもらう。)
- ・リモコンの時刻の設定をする。(設定方法は以下を参照)
- ・昼間の沸き上げをお客様自身で行ってもらう。

使いかた

警告

温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと
発火の原因になります。



タンクが満水になっていることを確認してから通電すること
・満水にしないで通電すると負圧によりタンクが破損しやけどの恐れがあります。
・水を入れないで通電すると故障の原因となります。



注意

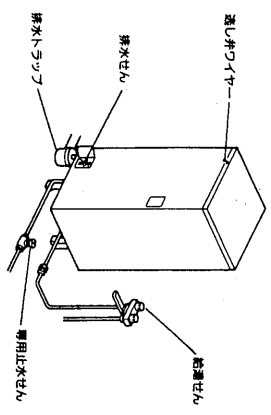
飲用しないこと
水質が変化した場合、下痢・腹痛など体をこわすことがあります。



給水のしかた

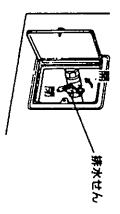
最初は、タンクや配管内のごみ・油などを流すため、給水したら一度全部排水し再び給水してください。

- 最初の給水のしかた
給湯せん、専用止水せんを開きます。
約30分〜40分で給湯せんから水が出てきます。



2. 排水のしかた

- 専用止水せんを閉じます。
給湯せん・排水せんを開きます。
約40分〜50分で水が抜けます。(排水できないときは、逃し弁を引いて逃し弁を開けてください。)



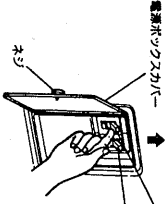
3. 再給水のしかた

- 排水せんを閉じます。
専用止水せんを開きます。
給湯せんから水が出てきたら給湯せんを閉じます。

通電(沸上げ)のしかた

通電は、必ず給水してから行ってください。

- 電源の入れかた
(1) 電源ボックスカバーのネジをゆるめてカバーを開けます。
(2) 漏電遮断器のレバーを2つとも必ず「入」にします。



お願い
2つの漏電遮断器は必ず「入」にしてください。

2. 現在時刻を合わせます。

マイコンモコンを使用して現在時刻を合わせます。

- 今夜からお湯を使いたいときは沸増し設定をします。
(時間特別契約のとき)
マイコンモコンの沸増しボタンを押します。

現在時刻の合わせかた

※マイコンモコで操作します。

- 時間特別電灯料金制度で使用する場合には、必ず現在時刻の設定をしてください。設定をしないとお湯を沸かすことができません。
 - 誤った時刻を設定すると、思わぬ電気料金がかかることがありますので、現在時刻を正しく合わせてください。
 - 深夜電力料金制度で使用する場合には、時刻設定する必要はありませんが、設定しておくくと便利です。
- つぎの手順に従って現在時刻を合わせてください。
例) ここでは午後8時45分に合わせることで説明します。

取扱要領

設定手順

- 漏電遮断器のレバーを2つとも入にします
(左図のように表示されます)
- 「時」ボタンを押します
デジタル表示部に午前12時が表示されて、12が点滅します。
- 「分」ボタンを押して、午後3時に合わせます
「時」ボタンを押すと1時間がずつ数字が進みます。押しつづけると連続して進みます。
- 「分」ボタンを押します
デジタル表示部の00が点滅します。
- 「分」ボタンを押して45分に合わせます
「分」ボタンを押すと1分ずつ数字が進みます。押しつづけると10分ずつ連続して進みます。
- 「設定」ボタンを押します
ボタンを押すと時刻が決定し、浴室マイコンにも時刻が表示されます。
- 操作が終わったら必ずふたを閉めます。

お願い

- ・10時間以上の停電があると、現在時刻がリセットされます。この時は、設定手順に従って時刻の設定を行ってください。

メモ

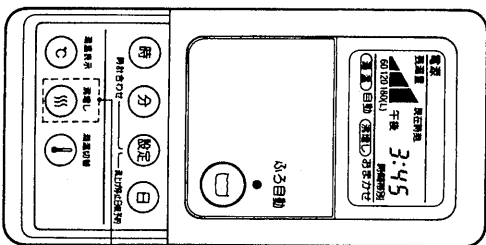
現在時刻を設定されますと、浴室マイコンにも自動的に現在時刻が表示されます。

使いかた (つぎ)

沸増しのしかた

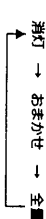
※メインリモコンで操作します。

- 「沸増し」は、昼間の電気でお湯を沸かすことです。
- ご家庭のお湯の使用量に応じて、タンクのお湯の「沸増し」が段階で減ります。お湯の残り量をゆずに「沸増し」の設定をしてください。
- 深夜などで、いつもよりたくさんのお湯が必要なときなどあらかじめ設定しておくとお湯が足りなくなるのを防ぎます。
- 「沸増し」をするとお湯をたっぷりと使えますが、昼間の電気を利用するので電気料金が割高になります。
- 現在時刻が設定されていないと「沸増し」できません。
- 深夜電力料金制度でご使用の場合は「沸増し」はできません。



設定手順

1. 「沸増し」ボタンを押します
ボタンを押すことで表示が切り替わり沸増しのボタンを変えます。



●沸増しのめやす

おまかせ…毎日沸切れの心配をしないでたっぷりとお湯を使いたい (毎日継続して沸かさあげます)
全量……昼間お湯を使ってしまうお湯が不足しそうなときなど (設定した当日1回だけ沸増しを行います)

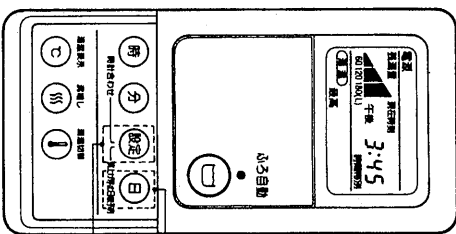
2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます。

項目	こんなとき	おまかせ	全量
沸増し設定	毎日沸切れの心配をしないでたっぷりとお湯を使いたい		
沸増しのしかた			
沸増しの条件	朝7時から夕方5時の間でお湯を約60L使用するごとに毎回でも沸き増しを行う		設定したときから1回だけ沸き増しを行う
解除の方法	沸増しボタンを押して沸き増しの表示を消灯させる		
備考	夜の間に沸き上らなかつたときに継続して約2時間余分に沸き上げを継続する		

沸き上げ停止のしかた

※メインリモコンで操作します。

- 旅行などで家を留守にする間、お湯を使用しないときなど、タンクの沸き上げを停止することができます。
- 運転停止日数は、2日から15日まで設定することができます。



設定手順

1. 「沸き上げ停止日数予約」ボタンを押します
ボタンを押すことで表示の数字が増えていきます。



2. 「設定」ボタンを押します
ボタンを押すと停止日数予約が決定し停止日数が表示されます。



停止日数の決めかた

例) 2月1日に出発して、2月7日に帰宅する6泊7日の旅行の場合
2月7日 出発日 (2月1日) に停止日
数字予約6を設定する。
1日経過ごとに日数が1日ずつ減っていきます。

手順

1. 「沸き上げ停止日数予約」ボタンを押して停止日数を0に合わせます



2. 「設定」ボタンを押します

「設定」ボタンを押すと停止日数予約が解除されて現在時刻が表示されます。

